

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		旧坂本小学校跡地活用				所管	企画財政部 用地・施設活用担当			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	274	計画事業名	旧坂本小学校跡地活用		事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標] 多様な主体と連携した区政運営の推進					[事業開始] 平成14年度			
		[施策] 63区有施設の総合的・計画的な管理と区有地の活用					[終了予定] -年度			
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区大規模用地活用推進会議設置要綱 台東区大規模用地活用推進進捗管理会議設置要綱				
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	旧坂本小学校跡地(以下、「本用地」)において、区の新たな魅力の創造・発信の場、様々な形で文化・芸術に親しむ場を整備する。また、行政需要や立地特性を踏まえ、避難所機能やスポーツのできる環境を整備する。								
	事業内容 [H30年度]	平成30年3月30日に締結した「東京都台東区と国立大学法人東京藝術大学との旧坂本小学校跡地の活用に関する協定書」に基づき、区と東京藝術大学による会議体を設置し、本用地の活用について検討を行った。また、地域活性化や行政需要、避難所確保の視点を踏まえ、地域協議会と意見交換を行うとともに、活用構想策定支援業務委託を実施した。								
委託の有無	一部委託	委託内容		活用構想策定支援業務委託等						
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	活用の検討	-	実施	実施	実施	実施	実施	-	
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)				H28年度	H29年度	H30年度			
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				(27,643)	(23,463)	15,870		
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				(3,027)	(14,398)	4,790		
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				(128)	(0)	0		
		総経費				(30,798)	(37,861)	20,660		
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				(0)	(0)	0		
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				(0)	(0)	0				
一般財源(区負担額)				(30,798)	(37,861)	20,660				
課題及び今後の進め方	早期の活用構想策定を目指し、引き続き東京藝術大学と協議を進める。また、整備する公共施設について具体化を図る。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	3	入谷地区はもとより、区全体の活性化を図るために本用地の活用は重要である。様々な地域要望、行政需要がある中、活用の検討にあたっては行政が主体的に判断していく必要がある。							
	効率性	3	活用構想策定に向け、幅広い知見を有する民間事業者へ委託する等、効率化を図った。							
	手段の適切性	3	民間事業者のノウハウを活用することで、戦略的な情報発信や産学官連携について検討を行った。これらをもとに、今後、活用構想の具体化を図る。							
目的達成度	3	東京藝術大学大学院映像研究科の移転を視野に、引き続き協議を進める等、一定の方向性が定まった。整備する公共施設については、区民ニーズへの対応や避難所確保の必要性からスポーツ施設等を検討することとした。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性	維持			
平成29年度末に締結した協定に基づき、区と東京藝術大学とで協議を進め、大学院映像研究科の移転を視野に入れ活用を検討することとした。また公共施設については地域要望も踏まえ、避難所機能やスポーツのできる環境を整備することとした。今後、早期の活用構想策定を目指し、引き続き東京藝術大学と協議を進める。また、整備する公共施設について具体化を図っていく。						拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了				